



仕事と接客の話をする講師

テーマ

Theme

映画館でのキャリア教育

学校・園名

School name

彦根総合高校

講師等

Lecturer etc.

滋賀県生活衛生営業指導センター

実施日

Date

2018年7月17日

教科等

Subject etc.

学級活動

授業
Class

彦根ピバシティシネマで彦根総合高校1年生208名を対象に、滋賀県生活衛生営業指導センターによる連携授業が実施されました。

学年を2グループに分け、2会場での開催となりました。

滋賀県生活衛生営業指導センターの講師による仕事と接客の話および、彦根ピバシティシネマ支配人による映画館での仕事の話の後、映画「羊と鋼の森」を鑑賞しました。

仕事と接客の話では、「仕事があることは有り難い」、「挨拶で印象が変わる」、「ファッションと見だしなみは違う」等を講師自身が職を失った経験をもとに語りました。

次に、映画館での仕事の話では、清掃作業やチケット・パンフレット等の販売業務、また運営するための事務作業や映画上演スケジュールの番組編成など様々あること、加えて滋賀県でのロケ地支援などもしているという話をされました。

「羊と鋼の森」は、本屋大賞に選ばれた小説の映画化作品で、将来を描くことが出来なかった高校生がピアノ調律師との出会いから、調律師を目指し挫折を味わいながら成長する姿が描かれています。

静かな雪国の美しい映像とピアノの力強い音色の中に、主人公が先輩調律師から「あきらめない気持ちを持ち続けることが才能」とアドバイスされているシーンがあり、生徒たちは静かに鑑賞していました。

感想

Impression

生徒より Impression from Children

- マナーの話では知らなかったことが聞いて勉強になった。
- 映画に感動した。
- また映画館で見たいと思った。
- 森の景色と音楽がきれいで音の演出がよかった。

学校より Impression from school

マナーや映画館での話を短い時間の中でしていただき、普段の学校生活では得られない経験が出来たと思います。昔の映画の話では子どもたちも興味を持って聞いていたと思います。

映画を楽しみにしていた生徒も多く、終了後チラシをもらって感激している子どももいました。

映画は少し難しかったように思います。

講師より Impression from lecturer

生徒さんには概ね理解をいただいたと思いますが、7月の猛暑の時期に映画鑑賞を含めて3時間というのは少し長かったのかなと反省しています。